

2025 年 5 月 18 日 (日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい}久宝教会
第 68 巻第 5 号 (通算 3442 号)
教会設立 1959 年 6 月 14 日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

^{ちい}小さく^{ひと}されている人を
^{たいせつ}大切にする^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

イエスは言われた。「私が復活であり、命である。

私に信頼して歩む人は、たとえ死んでいても生きる」(ヨハネによる福音書 11:25)

^{ふつつせつ}復活節 ^{だい}第5主日礼拝

《^{れいはい}礼拝はインターネットで^{ちゅうけいはいしん}中継配信いたします。ホームページにてどなたでも^{しちよう}ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

^{ぜんそう}前奏 (黙^{もく}とう)

AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

^{まね}招きの^{ことば}詞

^{しへん}詩編

^{へん}98編 ^{せつ}2-3節

^{きん}賛美^か歌

21-208番「主なる神よ、夜は去りぬ」(©教団讃美歌委員会)

^{せい}聖^し書

ヨハネによる福音書

^{しょう}14章 ^{せつ}1-11節

^{いの}お祈り

^{きん}賛美^か歌

こ改-132番「きみがすきだって」(©JASRAC)

メッセージ「^{わたし}私たちの^{かえ}帰る^{いえ}家」

^{うしだ}牛田 ^{ただし}匡 ^{ぼくし}牧師

^{きん}賛美^か歌

21-463番「わが行く道」(©著作権消滅)

^{しゅ}主の^{いの}祈り

21-62番「天にいます わたしたちの父」(©讃美歌改訂委員会)

^{ささげもの}献げ物 (*)

^は派^{けん}遣

21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

^{しゅく}祝^{ふく}福

^{うしだ}牛田 ^{ただし}匡 ^{ぼくし}牧師

^{こう}後^{そう}奏

アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讃美歌委員会)

^{ほう}報^{こく}告

(4頁をご参照ください)

《^{せき}席にお^{すわ}座りになったままで礼拝にご参加ください》

*^{うけつけ}受付に^{けんきんばこ}献金箱がございます。

「^{ささげもの}献げ物 (献金)」はご用意のある方のみ、お^{ささ}献げください。

招きの詞 詩編 98 編 2-3 節（聖書協会共同訳）

² 主は救いを知らせ

正義を国々の目の前に現された。

³ イスラエルの家に対する

慈しみとまことを思い出された。

遠く地の果てまで

すべてのものが我らの神の救いを見た。



聖書 ヨハネによる福音書 14 章 1-11 節（聖書協会共同訳）

¹ 「心を騒がせてはならない。神を信じ、また私を信じなさい。² 私の父の家には住まいがたくさんある。もしなければ、^a 私はそう言っておいたであろう。あなたがたのために場所を用意しに行くのだ。³ 行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたを私のもとに迎える。こうして、私のいる所に、あなたがたもいることになる。⁴ 私がどこへ行くのか、その道をあなたがたは知っている。」⁵ トマスが言った。「主よ、どこへ行かれるのか、私たちには分かりません。どうして、その道が分かるでしょう。」⁶ イエスは言われた。「私は道であり、真理であり、命である。私を通らなければ、誰も父のもとに行くことができない。⁷ あなたがたが私を知っているなら、私の父をも知るであろう。いや、今、あなたがたは父を知っており、また、すでに父を見たのだ。」⁸ フィリポが、「主よ、私たちに御父をお示しください。そうすれば満足します」と言うと、⁹ イエスは言われた。「フィリポ、こんなに長い間一緒にいるのに、私が分かっていないのか。私を見た者は、父を見たのだ。なぜ、『私たちに御父をお示しください』と言うのか。¹⁰ 私が父の内におり、父が私の内におられることを、信じないのか。私があなたがたに言う言葉は、^b 勝手に話しているのではない。父が私の内に^c おり、その業を行っておられるのである。¹¹ 私が父の内におり、父が私の内におられると、私が言うのを信じなさい。もしそれを信じないなら、業そのものによって信じなさい。」

（脚注 a：別訳「あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろう」）

（b：直訳「自分から」、c：直訳「とどまり」）

《先週のメッセージより》2025年5月11日 家族の日礼拝

「神の恵みは思いのままに」より

牛田匡牧師

聖書 コリントの信徒への手紙Ⅰ 12章 3-13節

今日は巷では「母の日」と呼ばれる日ですから、私たちの教会では「家族の日」と呼んでいます。親子、家族がよい関係で、心からの愛情や、感謝の気持ちが生じているのであれば、それは本当に素晴らしいことであり、そのような家族を与えて下さった神様に感謝です。けれども、一方では親子、家族だからこそその対立や確執があるのも事実ではないでしょうか。相手の存在が、自分にとって近い関係であればあるほど、相手のことを客観視することが難しい。自分とは異なる存在として、距離をとって考えることが難しい。互いに依存し合ってしまうからこそ、自分の思い通りに行かない時には、裏切られたと感じてしまう……。それもまた事実なのではないかと思います。

11節には「同じ一つの霊が、その望むままに、（それらの多様な恵み、務め、働きを）一人一人に分け与えてくださる」と記されています。そしてまたそのように「一人一人に霊の働きが現れるのは、全体の益となるためです」（7）とも言われています。これは「万事が共に働いて益となる」（ローマの信徒への手紙8章28節）という言葉にも通じることでしょう。聖霊の働き、神様の働きによって、全てのことが益となるように、私たちはそれぞれが異なる賜物や人格を与えられ、それぞれの道へと導かれています。ですから、私たちはお互いに一つの体に連なるそれぞれの部分として、それぞれの部分が同じ働きをしなくても、また同じ働きができなくても、互いに補え合えばよいのではないかと、パウロはそう伝えています。

そもそも、生まれるのも不思議、家族になるのも不思議、出会いが与えられるのも不思議としか言えません。一つ一つのことは、私たちの思い悩んだ末の決断や、選択の末の出来事と言うよりもむしろ、人知を超えて、自由自在、思いのままに、最善を目指して働かれる神様の恵みの業の結果です。ですから、私たちも決めつけることなく、また期待し過ぎることなく、自由でありたいと思います。そして、そのようであってこそ、私たちは隣人を大切にすることができ、家族に対しても、もう少し優しくなれるのではないかと思います。風のように思いのままに吹いてくる神様の恵みを、体いっぱい受け止めて、私たちは今日もここから歩み出してまいります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025 年 5 月 11 日 家族の日礼拝

礼拝出席 大人 5 人 献金 大人 4,200 円 中継視聴者数 8 回 感謝

◎次週 2025 年 5 月 25 日（日）復活節第 6 主日礼拝

招きの詞 詩編 95 編 7 節

聖 書 マタイによる福音書 6 章 1-15 節

メッセージ 「イエス様のお祈り」牛田匡牧師

賛美歌 21-495 番 (©P.D.)、1954-308 番 (©P.D.)、21-444 番 (©出版局)

礼拝の中で 5 月にお生まれになった方々の誕生者祝福式を行います。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。
- ・本日、礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行って、いこい食堂にお届けする予定です。どなたでもどうぞご参加下さい。
- ・6 月 1 日（日）14 時から、王寺墓地にて昨年に召天された さんの納骨式と、服部墓地から改葬して来たご遺骨の納骨式の墓前礼拝を行います。
- ・6 月 7 日（土）に、和歌山県かつらぎ町にて、「縁農」を行います。釜ヶ崎・いこい食堂の方々と一緒に、玉ねぎの収穫作業をお手伝いします。詳しくは牧師までお問い合わせ下さい。
- ・5 月 26 日（月）13 時～15 時にかけて、大阪キリスト教連合会主催の「2025 年諸宗教施設めぐり 浄土真宗大谷派徳正寺と救世軍京都小隊 ～隣り合う浄土真宗とキリスト教～」が開催されます。徳正寺本堂見学～浄土真宗についての講話～救世軍京都小隊会館（W.M.ヴォーリス設計。京都市「京都市民が残したいと思う“京都を彩る建物と庭園”」に選定）見学～救世軍について講話および交流会が行われる予定です。参加費は無料ですが、先着 25 名までのために参加申込が必要です。集合・解散場所は京都の予定です。詳細はお申込みくださりました方に、別途お知らせいたします。参加申込は名前、住所、連絡先電話番号、所属教派・教会名（団体名）を電話、ファックス、メールでお申込み下さい。締め切りは明日 5 月 19 日です。

電話 06(6762)7701（日祝除く 10:00-17:00）

FAX:0 6(6762)9885

e-mail: info@osakachristiancenter.or.jp

◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
5/25	牛田匡牧師	誕生者祝福式
6/1	牛田匡牧師	ユウカリスト・教会を考える会 14時～ 王寺墓地・納骨式
6/8	牛田匡牧師	ペンテコステ礼拝 (花の日こどもの日礼拝)
6/15	牛田匡牧師	14時半～ 河内地区女性会 (@小阪教会)

大阪キリスト教連合会 2025年諸宗教施設めぐり

浄土真宗大谷派 徳正寺と 救世軍京都小隊

～隣り合う浄土真宗とキリスト教～

京都市下京区



日時: 2025年 5月26日(月)
午後1時～3時

参加無料・申込要 (先着25名様まで)

- 集合場所と時間: お申込みくださいました方に、別途お知らせいたします。(京都にて集合・解散)
- 内容: 徳正寺本堂見学～浄土真宗についての講話～救世軍京都小隊会館(W.M.ヴォーリス設計。京都市「京都市民が残したいと思う“京都を彩る建物と庭園”」に選定)見学～救世軍について講話および交流会
- ・参加ご希望の方は、5月19日(月)までに下記事務局へお申し込みください。
- ・お申し込みなしの、当日突然の参加はできません。定員になり次第締め切りします。
- ・お申し込み後にキャンセルされる場合は、ご連絡ください。(食事はついていません)

【お申込み】参加者のお名前、ご住所、連絡先電話番号、所属教派・教会名(団体名)をお知らせください。電話、ファックス、メールでお受けいたします。折り返し、集合場所をお知らせいたします。定員になり次第、締め切りします。



→ 大阪キリスト教連合会事務局(大阪クリスチャンセンター内)
TEL: 06(6762)7701 (日祝除く10:00-17:00) FAX: 06(6762)9885
e-mail: info@osakachristiancenter.or.jp